

# 『いじめ予防 プログラム2』

～いじめ、問題行動予防の前提となる集団作り～

ある研究によると、小学校2年生の時にいじめの加害者（いじめっこ）だった男子は、24歳の時に犯罪者になっているリスクが、そうでない子どもの6倍だそうです。つまり【いじめ】は、被害者だけでなく、加害者、そして傍観者（いじめを見ている子どもたち）に将来にまで暗い影を落とします。

よって【いじめを撲滅することは、全ての子どもの未来の為に必要であるといえるでしょう。

単に「いじめは いけない。」ことを主張するだけでは【いじめ】を撲滅することはできません。

【いじめ】のない学校作りをすることが いじめ予防になります。

【いじめ】に着目するのではなく

【生徒指導】や【特別支援教育】 【保護者との信頼関係作り】 【学校の安全に関する評価の方法】 など、予防的な観点から取り組みを提案します。

『いじめ ステップ2』講習会では、先行研究に基づいた【科学的根拠のある方法】を提案します。

【いじめ】を定義し、加害者・被害者の危険因子を明らかにし、

【いじめ】への介入支援方法 そして、【いじめ】への予防の観点からの包括的な取り組みをご紹介します。

これらの方法を学ぶことによって、【体罰】や【過剰な叱責】等に頼ることなく、大人が、子どもたちを【教え 育て 導く】教育の道しるべの一つになることでしょう。

## 【講師紹介】

### 和久田 学 氏

公益社団法人 子どもの発達科学研究所 浜松オフィス所長  
大阪大学大学院連合小児発達学研究所 特任講師

20年以上の教員経験を生かし、

演 題：『いじめ予防プログラム2』講習会

内 容：『いじめ予防プログラム1』の内容を踏まえて

学校現場での導入する方法や児童生徒全体で行う予防支援カリキュラム

いじめへの介入支援の方法についてなど

対 象：『いじめ予防プログラム1』を受講した方

日 時：2014年 06月 29日（日）9:00～16:30（受付開始8:30）

場 所：群馬大学医学部 保健学科中央棟2階 3番教室

駐車場：職員第3駐車場（8:00～9:00まで入場可能）

（他の群馬大学付属病院内の駐車場ご利用の場合 料金がかかります。）

参加費：5000円（テキスト代込）

定 員：45名（定員になり次第締め切らせていただきます。）

申込み：裏面をご覧ください。（事前の申し込みが必要です。当日の受付はいたしません。）

主催：SUN学塾 in 群馬

後援：群馬大学附属病院 小児科 群馬県自閉症協会

## プログラム内容（予定）

8：30～ 9：00 受付

9：00～10：15 講義1「いじめ予防プログラムの理論的背景」ステップ1の振り返り

10：30～12：00 講義2「学校体制と教職プログラム」

いじめ予防プログラムは全ての教員の参加が必要です。プログラム実施の前提となる教員研修のプログラムについて解説します。

12：00～13：00 昼食：休憩

群馬大学附属医学部病院内1階にローソン・食堂・カフェがあります。（レストランはお休みです）

13：00～14：30 演習「いじめ予防プログラムの作成」

それぞれの学校で実施可能なプログラムの作成を行っていただきます。

14：40～16：00 講義3「いじめ予防プログラムの具体的内容」

年6回程度の実施が推奨される「いじめ」に関する授業及び日々の指導、保護者への啓発などについて解説します。

16：00～16：30 まとめ

下記の内容を記入の上、FAX かメールのどちらかでお申し込みください。  
なるべくメールでのお申し込みにご協力ください。

### 06月29日（日）『いじめ予防プログラム2』申込み

氏名	所属	職種
TEL	Email	

【申込み・お問い合わせについて】 お間違えのないようお願いいたします。

申込み・お問い合わせは、メールかFAXのみとなっております。

下記のメールアドレス・FAX番号にご連絡ください。

（電話では受け付けておりません。）

群馬大学大学院医学系研究科 小児科学分野内 SUN学塾 in 群馬 事務局

<申し込みのみ>

申込み先：Email： sun.g.mousikomi@gmail.com

申込み先：FAX： 027-361-7118

<お問い合わせのみ>

お問合せ先：Email： sun.g.toiawase@gmail.com

問合せ先：FAX： 027-361-7118